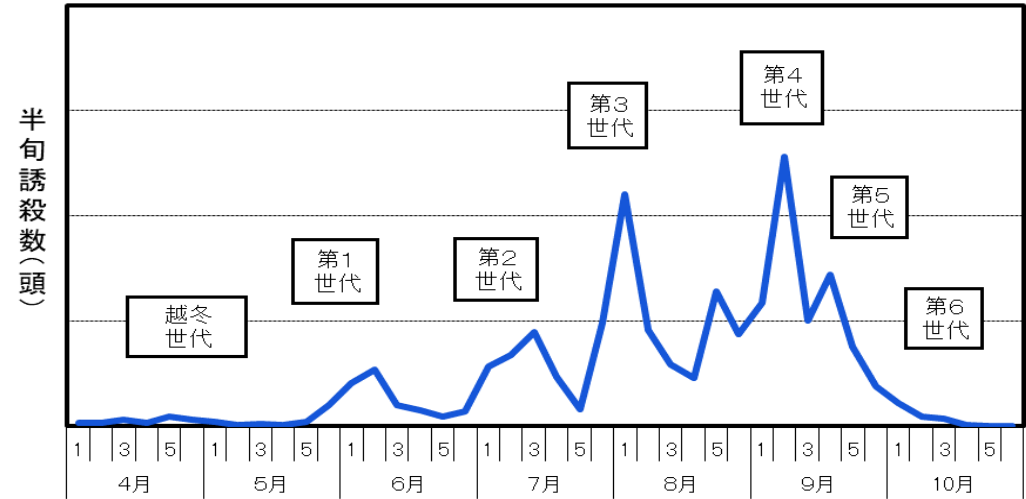


# モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

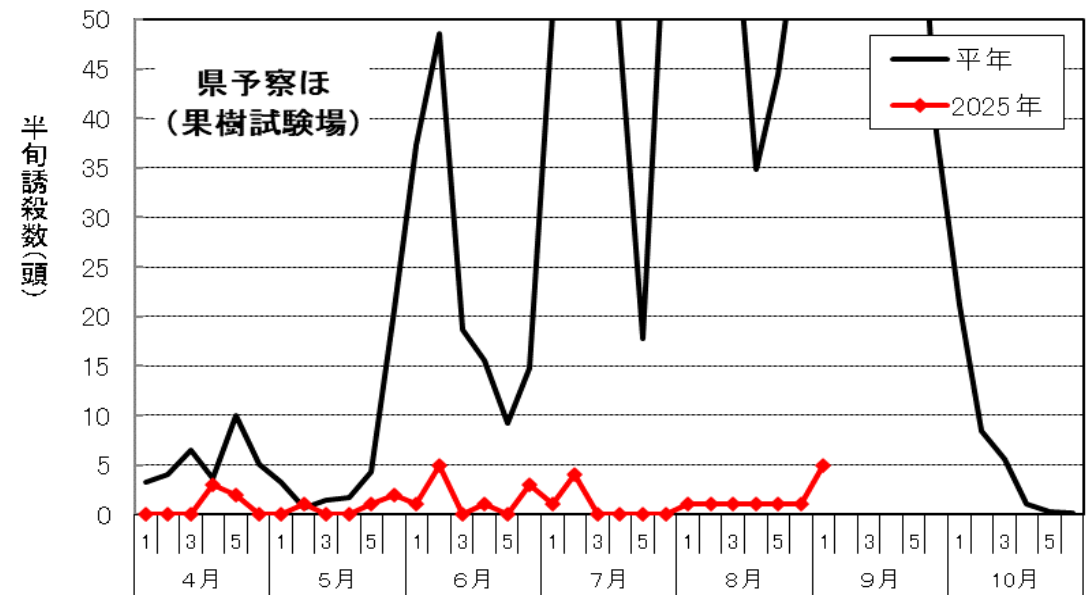
過去10年間の消長模式図（長野県果樹試験場内 県予察ほ）



## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年6～7回発生する。
- ・各世代成虫の発生最盛期は、越冬成虫が4月下旬、第1世代は6月上旬、第2世代は7月中旬、第3世代は8月上旬、第4世代は8月下旬、第5世代は9月下旬、第6世代は10月中旬頃である。
- ・寄生量は第3世代から急増し、第4、5世代は高密度となる。
- ・発生が多くなる第2～4世代の防除が重点になる。
- ・薬剤防除の目的は、主に幼虫による葉への食入防止である。

## ○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



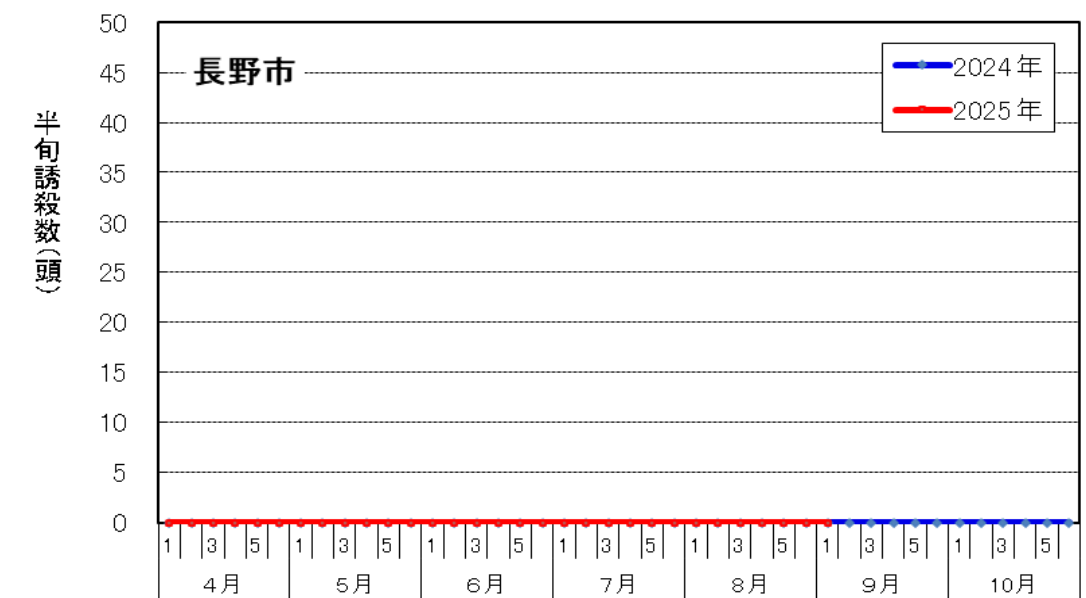
## 【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 果樹試験場（ももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・本年の誘殺頭数は、過去10年の平年より大幅に少ないが、本種は多い年と少ない年の差が大きい。多い年は非常に多いため、平均値が高くなっている。
- ・本年は設置以降、直近の9月第1半旬まで、誘殺頭数が1半旬で5頭以下の小発生状況が続いている。

## ○長野市（病虫害防除部）



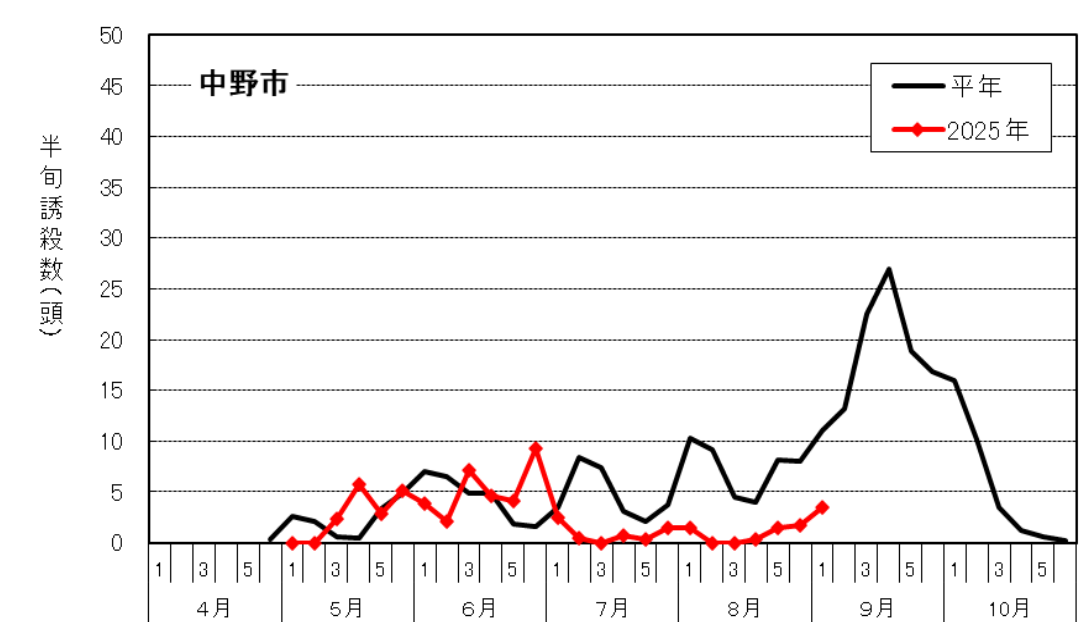
## 【調査地点】（標高約343m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2024年にはほ場を変更したため、平年値はない。

## 【コメント】

- ・このほ場では、いままで誘殺がみられたことがない。今年度も現時点で1頭も誘殺されていない。

## ○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



## 【調査地点】（標高約370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

## 【コメント】

- ・5から6月にかけては半旬で5頭前後が誘殺され、6月第6半旬には10頭近くを記録したが、7月第2半旬以降は誘殺数が減少し、半旬で1頭前後となっている。8月第4半旬以降増加傾向にはあるが、平年を下回る状況は続いている。